

平成28年度第1回 倉敷市地域福祉基金運営委員会

日 時 平成28年7月15日（金）9時30分～10時35分

会 場 倉敷市役所本庁舎9階 902会議室

出席者

委員 吉田委員，植田委員，永瀬委員（副会長），平井委員，森脇委員（監事），岡本委員（会長），
木村委員，榊原委員（監事），平岡委員，藤田委員

事務局

保健福祉局）藤澤参事

保健福祉推進課）月本課長主幹，清水主幹，久保田主任，落合主事

欠席者 なし

傍聴者 なし

議事内容（要旨）

1 開 会

委員10名の出席により，倉敷市地域福祉基金運営委員会規約第9条第2項の規定に基づき，会議が成立していることを確認し，開会を宣言した。規約に基づき会議の進行を岡本会長に依頼した。

2 議 事 （発言者：◎会長 ○委員 ■事務局）

（1）平成27年度事業報告，決算報告及び監査報告について

■ 資料に従い説明を行った。

○ 基金の歳入歳出について監査した結果，歳入歳出各科目の収支に関する経理は，基金の目的に沿って適切に処理され，関係帳簿も正確であったことを報告し，監査報告とする。

○ しらかべ号の報告集だが，事務局にも配布されたのか。

■ いただいている。（報告集を委員へ回覧）

承認

（2）平成28年度事業計画及び予算（案），各申請団体の審査について

■ 資料に従い説明を行った。

○ 16ページに記載のある日常生活用具給付事業について，火災警報器22台・22万円で予算計上しているが，これは設置費用まで含めたものか。また，4ページに各支所別で火災警報器の実績が記載されているが，単価が異なる理由を教えてください。

■ 実務を行っている健康長寿課に確認する。

◎ くらしき4Uの会は，設立は平成28年4月1日だが会員数が30名と多い。地域のニーズがあり，共感する方がたくさんおられるのだろう。

○ 高齢者のために故人からの寄附9千万円をとということだが，それがこの日常生活用具給付事業のことか。

■ はい。故人からの大口寄附を，日常生活用具給付事業の財源とさせていただいている。

○ 日常生活用具給付事業の予算書についてだが，何を何台欲しいという申請がもう出ているのか。

■ 前年度の実績や見込みから予算を組んでいる。

○ 申請はどのようなところから出て来るのか。

- ケアマネージャー等の制度についてご存知の方が、高齢者の方に制度をご案内し申請に至るケース等が多いと聞いている。
- 事業所でなくて、個人からの申請ということか。
- 対象は65歳以上のねたきり高齢者やひとり暮らし高齢者である。ただし、所得がある方はほぼ自己負担となるケースも多い。
- 先ほど質問いただいた火災警報器の件だが、設置費用は助成の対象になっておらず、個人負担でお願いしている。地区により単価が異なるという件だが、火災警報器にはさまざまな商品があり、購入する商品の制約を設けていないので、申請者の希望する商品で申請をしてもらい、給付を行う。ただし、品目ごとに基準額を設けており、火災警報器は基準額が1万円であるため、1万円を超えた部分は自己負担ということになる。予算は基準額の1万円で計上している。
- 熊本地震のボランティアバスツアーについての報道をきっかけに、国や県の登録を受けた旅行業者以外が、不特定多数の人から参加者を募集し、旅行者から金銭を受け取りバスや宿泊の手配を伴う旅行を実施する場合、営利目的でない場合でも旅行業法に抵触するということが分かった。登録を受けていない団体がそのような事業を行う場合、「企画旅行契約」に基づき事業を実施しなければならず、事業の実施は旅行業者との共同企画とし、旅行の企画・実施部分は旅行業者の責任で行う必要がある。また、申込受付や旅行代金収受についても旅行業者が行わなければならない等が規定されている。しらかべ号について確認を行ったところ、旅行業者であるバス会社に旅行行程の企画や保険加入を依頼するなどしており、実質的には旅行業者を通した形で事業を行っていたが、その旨を参加者の募集書類等に明記しておらず、申込先も実行委員会宛となっていたため、募集要項を修正し直ちに差替えを行った。また、参加者の支払う旅行料金についても、旅行業者が収受するよう現在調整を行っている。問題が発覚したのが今年度の事業開始後であったが、是正できる部分については是正し、法に沿った形でしらかべ号の旅を今年も継続させていただきたいので、よろしく願います。
- 数社から合い見積もりを取りバス会社を決めたのか。それとも、実行委員会のほうでバス会社を指定して決めているのか。
- 車椅子の方が多く利用されることもあり、現在はリフト付きバスを所有する会社を利用している。リフトがないバスでは添乗員をつける必要があるが、リフトがないバスも含め、数社から見積もりをとる等し費用面でも検討している。
- 倉敷市が購入し、社会福祉協議会で貸し出しを行っていた福祉バスが昨年の3月で廃車になった。福祉バスを利用することで金額的負担を軽減できていたが、バスをレンタルするとなると、金額的な問題で小さな会ではなかなか事業を実施できない。しらかべ号も新規の参加者が増えてくると、ハンディのある方にとって潤いになると思う。
- 定員を超える申込みがあった場合は、初参加の方を優先すると聞いている。

承認

3 閉会

以上により、議事を終了